

機械設備 受水槽

受水タンクは「6面点検」

問 題

受水タンクの横にロッカー等を設置すると、周囲の6面点検ができない。
(法定点検事項)



対 応

受水タンクの周囲の状況を確認するためのスペースが必要である。

物品の移動等を行い、6面共に点検ができるようにする。

同様に機械室も設備機器のメンテができるように機器の周囲に物品を置かない。

機械設備 室外機

室外機の運転効率が低下

問題

植栽等の手入れを行わないと、植栽帯に設置した室外機が繁茂した植栽で覆われて、運転効率の低下や故障の原因になるおそれがある。



対応

室外機の周囲の植栽を撤去し、室外機の運転に支障が無いよう周囲にスペースを設けることでエアコンの運転効率が上がり故障の可能性も低減される。

機械設備 空気調和設備

発熱機器による温湿度調整の不具合

問題

空調用温湿度調節器のセンサー部分の近くに発熱機器(複写機)を設置したりすると、冷暖房の温湿度制御に影響が出る。



<温湿度調節器>
全館空調を行う場合
室内の温度・湿度を
感知する部分

複写機

対応

空調用温湿度調節器のセンサーに熱の影響を与えないよう発熱機器(複写機、印刷機等)をセンサー周囲から移動させることにより建物内の冷暖房の温湿度調節が適正に働き、執務環境が改善する。

機械設備 換気設備

ガラリや吹き出し口

問題

ドアガラリを段ボール等で塞いだり、レタンガラリ(室内空気を吸引して空気調和機へ循環させる吸込口)が物品等で塞がれてしまうことにより不具合が出る。



対応

循環する空気の流れを阻害しているため換気不足、風切り音が発生したり、空調運転のエネルギーロスにつながる。

冬場、事務室内が寒くても段ボールでドアガラリを塞がない。

物品等の移動を行いレタンガラリを塞がない。